

大館市教育委員会会議録

日 時 令和6年7月24日（水）

午後2時00分

場 所 大館市田代総合支所

大会議室

大 館 市 教 育 委 員 会

大館市教育委員会会議録

1	開会の日時	日 時	令和6年7月24日（水）		午後2時00分
	及び場所	場 所	大館市田代総合支所		大会議室
2 出席委員の氏名					
教育長職務代理人		山 田 和 人	委 員	工 藤 啓 子	
委 員		根 田 穂美子	委 員	小笠原 正 卓	
3 欠席委員の氏名					
4 委員以外の出席者職氏名		(なし)			
5 出席した職員の職氏名					
教 育 長		高 橋 善 之	学校教育課長補佐	柴 田 賢	
教 育 次 長		成 田 浩 司	生涯学習課長補佐	羽 沢 秀 則	
教 育 監		長 岐 公 二	中 央 公 民 館 長	外 館 志	
教 育 総 務 課 長		北 林 香 子	歴史文化課長補佐	篠 村 朋 子	
学 校 教 育 課 長		鈴 木 明	教育総務課総務係長	柳 谷 真 希	
教 育 研 究 所 長		米 澤 貴 子			
生 涯 学 習 課 長		畠 山 慶 子			
歴 史 文 化 課 長		関 智 仁			
教育総務課長補佐		宮 崎 史 人			
6 会議録署名委員 教育長・根田委員					
7 会 議 書 記 教育総務課 総務係長 柳谷 真希					
8 教育長報告					
(1)	大館市教職員「夏季研修会」及び「ICT活用研修講座」について				
(2)	大館市生涯学習推進協議会委員の委嘱について				
(3)	大学公開講座の開催について				
(4)	大館市老壮大学館外研修の実施について				
(5)	大館城跡発掘調査の現地説明会について				
(6)	特別展の開催について				
9 議 事					
協議第24号	令和6年度9月補正歳出予算要求の概要について				
10 その他					
(口頭)	事故報告5～7月分				
	次回 9月4日（水）長木公民館 第1，2研修室				

教育長が教育委員会に報告する事項

令和6年7月24日

担当課(教育研究所・学校教育課)

報 告 事 項	報 告 内 容
(1) 大館市教職員「夏季研修会」及び「ICT活用研修講座」について	大館市教職員の「夏季研修会」及び「ICT活用研修講座」を、次のとおり実施します。 1. 開催期日 令和6年7月31日(水) 1時限目 8:30～10:00 2時限目 10:20～11:50 3時限目 13:30～15:00 4時限目 15:20～16:20 2. 開催場所 秋田職業能力開発短期大学校 3. 研修講座 研修講座は17講座あり、各時限4～5つの講座から1つを選択。 1人2講座以上選択可能。 4. 講座内容 詳しい内容は、実施要項を参照してください。

令和6年度 大館市教職員「夏季研修会」「ICT活用研修講座」実施要項

- 1 期日 令和6年7月31日(水) 8:30~11:50 13:30~16:20
- 2 場所 秋田職業能力開発短期大学校
- 3 講座内容
- * 隔年の参加としておりましたが、連続の参加も可能です。
また、1人2講座以上選択できます。
- * 昼食会場として食堂を開放します。注文はできませんので各自お持ちください。

◎午前の部

1時限目 8:30~10:00		
【研修講座1】 講話	◇比内支援学校共催 「通常学級における特別な支援が必要な子どもの理解と支援」 スマイル・サポート 宮城学院女子大学 教育学部 教育学科 教授 梅田 真理 氏	梅田氏は、宮城学院女子大学で、特別支援教育の中でも発達障害を中心に、通常の学級や通級指導教室などでの気づきやアセスメント、指導内容や指導方法などについて研究しておられます。研修会では、通常学級に在籍する特別な支援が必要な子どもたちの困難さについて、またその困難さがどのように学習に影響するのか、指導する上で大切にしたいこと等について、事例を交えてお話をいただく予定です。
【研修講座2】 講話・演習 小～中学校 どなたでも	■ICT活用研修講座 ※講座2・6は同じ内容となります 電子黒板「ミライタッチ」の利活用 さつき株式会社	昨年、市内全校へ導入された電子黒板「ミライタッチ」の使い方を学びます。電源をつなぐだけで、何でも書けるホワイトボード機能や内蔵されている実物投影機等、実機を使っでの説明と体験を行います。
【研修講座3】 講話・演習 小学校 理科 中学校 理科・社会 の先生方にも おすすめ！！	■SDGs教育 「感動！体験 エネルギー教室」(小学校) 「エネルギー・防災に関する講話と科学実験」(中学校) 公益財団法人 東北電業会 常務理事 川嶋 孝 氏 ※東北6県と新潟県において、エネルギー広報事業を行っている公益財団法人です ※出前講座は、小・中学校とも講師料や実験費用など、全て無料。	小中学校向けに行っているエネルギーに関する出前講座についての紹介をします。 「エネルギー教室(小)」では、発電の仕組みやエネルギーに係るSDGsの講話などに加え、手回し発電機を用いた発電体験や手回し発電工作キットの組立、「エネルギー・防災に関する講話・科学実験(中)」では、①日本のエネルギー事情、②エネルギーと科学実験、③エネルギーと防災に関する講話と実験の3つのテーマから1つ選択していただき、講話や科学実験を行っています。
【研修講座4】 講話・実技 体育館	◆大館市出前講座 ※講座4・13は同じ内容となります ラジオ体操の基本を学ぼう 大館ラジオ体操の会 会長 渡邊 美和子氏・副会長 大澤 睦子氏	ラジオ体操の歴史に触れながら、「ラジオ体操第一」を中心に実技を行います。ラジオ体操一つ一つの動きにはねらいがあり、意識しながらやることでより一層効果が上がります。授業にすぐ役立つことはもちろんのこと、健康や美容にもバッチリ。研修に参加された方は10歳若返ります。

2時限目 10:20~11:50		
【研修講座5】 講話	◇比内支援学校共催 発達障害のある子どもの理解と対応 秋田医療療育センター 発達障害者支援部 部長 荒川 祐介 氏	荒川氏は、発達障害者支援センターふきのとう秋田で、発達検査や相談業務などに長年にわたり携わり活躍されています。また、療育機関や教育現場でも、発達障害について理解や対応の仕方など、専門的な立場からご講話やご助言をされています。研修では、発達障害のある子どもの理解と対応について、相談支援の事例を交えたお話をいただく予定です。
【研修講座6】 講話・演習 小～中学校 どなたでも	■ICT活用研修講座 ※講座2・6は同じ内容となります 電子黒板「ミライタッチ」の利活用 さつき株式会社	昨年、市内全校へ導入された電子黒板「ミライタッチ」の使い方を学びます。電源をつなぐだけで、何でも書けるホワイトボード機能や内蔵されている実物投影機等、実機を使っでの説明と体験を行います。
【研修講座7】 演習 小～中学校 どなたでも	■ICT活用研修講座【基本編】 「簡単・手軽に」キホンのeライブラリ活用 ラインズ株式会社 花岡 結女 氏	児童生徒画面・先生画面より、基本操作をじっくり学びます。タブレットがあまり得意でない先生も、初めてeライブラリに触れる先生も、子どもたちと一緒に簡単に運用できる機能を中心にご紹介いたします。
【研修講座8】 講話・演習	◆キャリア教育 企業が取り組む、生きる力を育むキャリア教育の実践 パーソルキャリア株式会社 ミッション共創推進部 キャリア教育推進グループ 竜田 遼 氏	企業の社会貢献活動として、全国の小・中学生を対象に子ども達の「生きる力」を育むプログラムを無償提供しております。子どもたち自身が、はたらくことや生きることの本質を捉え直すプログラム展開を行っており、企業や社会から見た子ども達に身につけてほしい能力とは、先生方はどのような支援ができるのかを事例も交えながら学べる時間となります。

◎午後の部

3時限目 13:30～15:00		
【研修講座9】 講話 各校1名以上	◇特別支援教育 障害児通所支援事業による発達支援と学校・家庭との連携 ～放課後等デイサービス事業所の利用と支援の実際～ 大館市障害者自立・差別解消支援協議会（大館市福祉課障害福祉係 渡部 麻衣子氏 /大館市基幹相談支援センター 管理者 柴田 朋子氏）	障害のある子どもにとって、学校での生活は放課後や家庭へとつながっています。切れ目のない支援体制を推進するために、福祉の制度や役割、そして放課後等デイサービス事業所の現状を先生方に知っていただく機会になります。学校・放課後・家庭が、子どもの情報や必要な支援を共有する、連携する第一歩となります。
【研修講座10】 講話・演習	◆心理教育 ウェルビーイングを高めるポジティブ心理教育 ～潜在意識やインナーチャイルドが現在に及ぼす影響～ ～リラクゼーションとメンタルヘルスケアワーク～ ～ウェルビーイングな人生設計～ 一般社団法人 心を育むここはぐらボ 代表理事 伊藤 孝子 氏	こんな方におすすめです。 ・ストレスを感じている方 ・心のバランスを取り戻したい方 ・トラウマや心の傷を癒したい方 ・自己成長を求めている方 ・仕事とプライベートのバランスをとりたい方 ・ウェルビーイングを高め、幸福な人生を送りたい方
【研修講座11】 演習 小～中学校まで どなたでも	■ICT活用研修講座【発展編】 「深く・応用的に」教材の枠を超えたeライブラリ活用 ラインズ株式会社 花岡 結女 氏	2024年4月よりさらに新機能が搭載されたeライブラリ。本時では、新機能を含めた先生の授業展開の参考になる機能や、学習評価の参考となる蓄積されたデータの利活用について、事例と共にご紹介いたします。
【研修講座12】 講話・演習	■プログラミング教育 ビジュアル型プログラミング言語Scratchを利用したマイコンプログラミング教育 秋田職業能力開発短期大学校 電子情報技術科 松田晃太郎 氏	文科省「小学校プログラミング教育の手引き」等で紹介されているビジュアル型プログラミング言語Scratchを利用し、ロボットや家電製品に搭載されているマイクロコンピュータを制御するプログラミングを行います。LEDを点滅させたり、センサを利用したり、モーターを回転させたり、パソコンの外側の世界と内側の世界をつなぐプログラミング実習を習得します。
【研修講座13】 講話・演習 体育館	◆大館市出前講座 ※講座4・13は同じ内容となります ラジオ体操の基本を学ぼう 大館ラジオ体操の会 会長 渡邊 美和子 氏 理事 鳴海 健 氏、柴田 友子 氏	ラジオ体操の歴史に触れながら、「ラジオ体操第一」を中心に実技を行います。ラジオ体操一つ一つの動きにはねらいがあり、意識しながらやることでより一層効果が上がります。授業にすぐ役立つことはもちろんのこと、健康や美容にもバッチリ。研修に参加された方は10歳若返ります。

4時限目 15:20～16:20(60分)		
【研修講座14】 講話 各校1名以上	◆キャリア教育 原子力エネルギーのこれまでとこれから 秋田職業能力開発短期大学校 校長 中村 雅英 氏	多くの関心を集める原子力エネルギーに対し、その基礎から今後の動向まで解説します。原子力に関する知識がない方、文系の方、原子力賛成の方、原子力反対の方のいずれも大歓迎です。途中、討論も行う予定ですので、積極的な発言を期待しています。
【研修講座15】 講話 中学校社会科や小学校高学年の先生方におすすめ	■ふるさとキャリア教育(出前講座) ふるさと歴史講座「大館の遺跡」 大館市教育委員会 歴史文化課 埋蔵文化財係 主査 嶋影 壮憲 氏	後期旧石器時代から縄文時代(27000～2300年前)、弥生から古墳時代(2300年前～7世紀)、奈良から江戸時代(710～1868年)までの大館の歴史を、発掘された土器や遺跡の資料を中心に説明します。
【研修講座16】 講話・演習 各校1名以上	◆特別の教科 道徳 令和5年度道徳教育パワーアップ協議会 報告 大館市立城南小学校 教諭 畠山 真由美 氏	1月9日に行われた道徳教育パワーアップ協議会で受講したことをお伝えします。道徳教育の推進のための取組について情報を共有し、今後の更なる充実に向けた方策についてグループ協議をしていきます。自校の道徳教育推進における方向性のヒントとなればと思います。
【研修講座17】 講話・演習 小～中学校まで どなたでも	■ICT活用研修講座 電子黒板「ミライタッチ」の利活用【応用編】 さつき株式会社	昨年、市内全校へ導入された電子黒板「ミライタッチ」の使い方を学びます。各学校での活用方法を紹介していただきながら、日々の疑問点や活用ポイントなどを実機操作により体験いただきます。

担当課(生涯学習課)

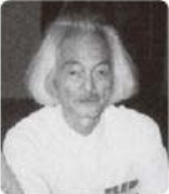
報 告 事 項	報 告 内 容
(2) 大館市生涯学習推進協議会委員の委嘱について	大館市生涯学習推進協議会委員について、関係機関からの推薦により選出した委員に変更が生じたため、前任者の残任期間を委嘱しましたので報告します。

報 告 事 項	報 告 内 容
（３）大学公開講座の開催について	7月2日から4日までの3日間にわたり、秋田看護福祉大学のキャンパスにおいて、大学公開講座を開催しました。 講座は、市民の多様化・高度化する学習のニーズに応えるため開催したもので、地域の高等教育機関との連携により、専門性の高い講座内容となっています。 受講者の中には高校生も数名おり、講義内容はもとより今年度から申込方法に二次元コードを活用したことも、受講者の増加につながったものと推測されます。 10月には、秋田職業能力開発短期大学校での公開講座も予定していますので、引き続き、多くの市民に受講していただけるよう努めてまいります。 【講座内容】 7/2 「当たり前」を問い直す 7/3 あなたにとって接遇とは何ですか 7/4 災害は、ある日突然！ 受講者数 総計 132人 (R5年度 88人) 

報 告 事 項	報 告 内 容
(4) 大館市老壮大学館外研修の実施について	大館市老壮大学では、6月19日に館外研修で男鹿市を訪れ、学生たちは男鹿半島に伝わる歴史や文化を学んだほか、民俗行事に触れるなど、充実した1日を過ごしました。 最初に訪れた男鹿真山伝承館では、伝統としきたりを厳粛に受け継ぐ真山地区のナマハゲ習俗を体験できる講座に参加し、ナマハゲに扮する二人が荒々しい奇声を上げて歩き回る迫力ある演技に圧倒されていました。 真山神社では、宮司から神社の由来や御神木について説明を受け、うなずきながら熱心に聞き入っていました。 最後の研修先である男鹿水族館では、普段見ることのない海の生き物に夢中になり、出発時間直前まで館内を回っていました。 帰路に着くバスの車内では、学生たちのみやげ話で大いに盛り上がり、実りある研修旅行となりました。 令和6年度 老壮大学 館外研修 1. 参加者数 36名(老大生33名、講師1名ほか) 2. 研 修 先 男鹿真山伝承館、なまはげ館、真山神社、入道崎(昼食)、男鹿水族館 GAO  男鹿真山伝承館  真山神社宮司の説明に聞き入る  入道崎での昼食  男鹿水族館での見学模様

報 告 事 項	報 告 内 容
(5) 大館城跡発掘調査の現地説明会について	6月29日、字三ノ丸地内で大館城跡発掘調査の現地説明会を開催しました。 この調査は、秋田県信用保証協会大館支所の事務所新築工事に伴い、5月から6月にかけて行いましたが、想定していた江戸時代より古い建物群が見つかったことから、埋め戻す前に調査の成果を公開したものです。 三ノ丸地区は、江戸時代には大館城の一部として佐竹氏家臣の屋敷が存在していたものの、それ以前のことは分かっていませんでしたが、今回の調査で約500年前の室町時代のものと推定される^{たてあな}竪穴建物跡などが見つかりました。 竪穴建物跡は工房や納屋と考えられ、発掘した5軒のうち2軒からは15世紀後半～16世紀後半の陶磁器が出土し、中世の遺構群が発見できたことで、^{あさりかつより}浅利勝頼が^{てんぶん}天文19（1550）年以降に大館城を築城したという記録と符合するため、中世大館城の姿がおぼろげながら見えてきました。 そのほか、平安～鎌倉時代に使われていたと思われる深さ約2メートルの井戸の跡が見つかり、底面付近からは^{はじき}土師器^{こざら}小皿（かわらけ）が出土したことから、奥州藤原氏の関連遺跡とされている^{やたてはいじあ}矢立廃寺跡と本遺跡がつながる可能性が高くなりました。 また、平安時代の^{えんけいしゅうこう}円形周溝（墓）と思われる溝も見つかりました。 当日は炎天下にもかかわらず、市内外から多くの方が参加し、中世の大館に思いを馳せていました。 今後、大館城跡発掘調査の特別展を開催し、広く大館市の宝を発信するとともに、文化財に対する保護の意識を醸成してまいります。 ○参加者 1回目 10時～ 43人 2回目 13時30分～ 23人 遺構の説明 出土遺物の説明

担当課（歴史文化課）

報 告 事 項	報 告 内 容
(6) 特別展の開催について	大館郷土博物館では、7月13日から「田中孝一^{たなかこういち}氏を偲んで 大館郷土博物館所蔵 戸嶋靖昌^{としまやすまさ}全作品展」を開催しています。 銀座・清澄^{きよすみ}画廊の田中孝一氏は、2007年に戸嶋遺作展の開催依頼のため当館を初めて訪れ、同年8月に「望郷50年 魂の画家・戸嶋靖昌展」を開催して以来、戸嶋作品を含む田中氏のコレクション（通称「清澄コレクション」）が当館へ寄贈されるようになり、これまでに計320点（うち戸嶋作品69点）が当館の所蔵となりました。 清澄コレクションの展覧会（今回10回目）は当館の夏の風物詩となり、田中氏も毎年来訪され、来館者との交流を深めてきましたが、令和6年1月、逝去されたことから、田中氏を悼み、当館に寄贈していただいた全作品を展示しています。 ○期 間 8月18日(日)まで ○入場料 一般330円/大学生以下無料（期間中のみ） ◆展示作品の紹介（一部）  「かれいに寄せた交響楽」1953年  「自画像」1964年  田中 孝一（1941-2024） 東京都江戸川区出身。 66年、銀座・サカモト画廊に入社。 67年、麻生三郎を介して 戸嶋と出会う。 以降、公私にわたり戸嶋を援助する。 77年、銀座に清澄画廊を開く。  戸嶋 靖昌（1934-2006） 秋田県北秋田市坊沢で育つ。 52年、大館鳳鳴高校卒業。 58年、武蔵野美術学校西洋画科を経て彫刻科卒業。 74年、初めてスペインへ渡り、 時々帰国しつつ作品を制作。 2006年逝去。享年72歳。

議 事 の 経 過	
	開会 午後 2 時 0 0 分
教育長	ただ今より教育委員会会議を始めます。 会議録署名委員については、私と根田委員にお願いします。 会議録についていかがだったでしょうか。 (「異議なし」の声あり) それでは、承認とさせていただきます。 では、4の教育長の報告事項をお願いします。
各課長	(「(1) 大館市教職員「夏季研修会」及び「ICT活用研修講座」について」 「(2) 大館市生涯学習推進協議会委員の委嘱について」 「(3) 大学公開講座の開催について」 「(4) 大館市老壮大学館外研修の実施について」 「(5) 大館城跡発掘調査の現地説明会について」 「(6) 特別展の開催について」を資料により報告)
教育長	ご意見、ご質問はございませんか。
委員	質問ではないのですが、大学公開講座の開催について感想を述べさせていただきます。 3日間参加させていただいて、みんなが意識しなければいけないようなことを改めて身近に感じさせられて、とてもいい講座だったと思います。 「当たり前を問い直す」というのがありましたが、例えば私たちが普段障害を持った方々を見るときに何かお手伝いしようと思っても、障害を持っている方々の気持ちをわからないまま余計な手助けをしたり、自発的にやろうとしていることをかえって邪魔して手を差し伸べたり、そういうことを改めて考えさせられたと思いました。 それから「あなたにとって接遇とは何ですか」ということに関しては、地域の看護師さんたちを育ててくださっている先生方の思いが伝わってきて、患者さんに立ち向かう姿勢や、地域を守ろうとする気持ち、看護師の立場からだけではなく、市民の立場から全体を考えていこうという教えを先生方がしっかりとやってくださっていることが、地域と一体になっている学校であるということを改めて感じる事ができました。 「災害は、ある日突然!」ということに関しましては、秋田市でも昨年災害がありましたし、大館市でも何年前に駅前が大変な災害だったことがありました。 本当に意識しない、考えてもいないときに突然訪れる災害に対する私たちの心構え、それを改めて先生から教えを受けて、自分なりに考えさせられる

	ことが大変多く、もっとたくさんの方に聞いてほしいなと思いました。 3回とも参加している国際情報の高校生がおりまして、大変熱心に聞かれていて、大館の将来も明るいという気持ちで参加させていただきました。ありがとうございました。 それからもう1つ、特別展の開催にも行きました。 田中孝一さんは、十数年も前から毎年大館市にいらしていただいて、戸嶋作品に対して説明をしてくださったり、また熱心に大館市のことを愛してくださって、本当にありがたいことだと思いました。 大変いい展覧会なので、皆さんもぜひ行って田中孝一さんを偲んでほしいなと思います。
委員	大館城跡発掘調査の現地説明会についてのお礼です。 私の娘も午前中に一緒させていただきまして、暑い中、職員の皆さんにはあのような説明会を開いていただいて大変だったと思います。感謝申し上げます。 私が娘から聞いて思ったのは、時代として何層も重なっているものが自分たちが住んでいるところから出てくるという衝撃と、このタイミングで信用保証協会さんが建て直すことで出てきたことで、我々が触れられるということに本当にありがたいことだと思います。 昨年度も市役所跡の説明会も開催していただきましたが、今回の報告の中では特別展を開いていただけということだったので、それも楽しみに待ちたいと思います。
教育長	私も見せていただいたのですが、まず感じたのは、三ノ丸のあの場所が、縄文時代から現代に至るまで住みよい土地として、どの時代でも同じだったことです。 それから、中世の浅利の遺跡が出てきたというのが、これまで記録にはあったのだけれども、やはり考古学的な実証的な遺跡として意義があると思います。 歴史的に見て一番私がこれだと思ったのは、奥州平泉の遺跡から出てくる「かわらけ」です。手づくねのかわらけというものでろくろ式でないかわらけなのです。それが出てきたし、実は大館の平泉関係の遺跡としては矢立廃寺、ここにも書いていますけれども矢立廃寺からの発掘で平泉4点セットというものが出ています。かわらけを含めて白磁だったり常滑産や渥美産の壺だったりですね。これって東北の中で12か所しか出ていないんです。 ということは、おそらく矢立廃寺といわれるものは、平泉直系の、昔で言えば東大寺国分寺の関係にある、そういう寺院であっただろうということを強く推定できるものでありまして、しかもその同じ大館盆地の中で、今回の三ノ丸と同じような陶器が出てきているというのは、たまたまではなくて、極めて奥州平泉との関わりが強い土地だということが推定できると思います。 というわけで、委員の娘さんだけではなく私もわくわくして見ておりまし

	た。ちょうど今月の３０日に平泉を中心とした一関市や北上市周辺の、２市２町の「ときめき世界遺産塾」という、子どもたちに平泉の歴史を伝えていくためのツアーをやっているそうで、３０日午後には大館の錦神社と西木戸神社を見学するということでもありますので、平泉の教育長もいらっしゃると思います。 私も行って、今回のその発掘の話などに触れたいなと思っています。他にございませんでしょうか。
委員	歴史文化課のＳＮＳをたまに見ることがあるのですが、非常にいい発信をされているなと感心しております。 この発掘の後ですとか今回の特別展のことにつきましても、ことあるごとにしっかりと発信されているので、こういう発信を積み重ねていくことが、生涯学習という意味で裾野を広げていくのだろうなということを感じていますので、ぜひ引き続きよろしくお願いできればなと思います。
教育長	他にはございませんか。なければ、報告はこれにて終わらせていただきまして、議事に入ります。説明をお願いします。
各課長	(「協議第２４号 令和６年度９月補正歳出予算要求の概要について」を資料により説明)
教育長	ご意見、ご質問等はございませんか。
委員	教育研究所の方についてお伺いしたいと思います。 ２つ目のふるさとキャリア教育ステップアップ事業で、「３校の」というご紹介をいただきましたが、その事業の内容について、おわかりでしたらお知らせいただきたいと思います。
学校教育課長	３校は、城南小学校と西館小学校、東中学校です。城南小学校は、「大館の食をＣＭで発信しよう」ということで、具体的には大館市の食の良さや課題について作成したリーフレットを基に考え、ＣＭの撮影、編集、制作を行う内容です。 西館小学校では、ちょうど１５０周年を迎えるに当たり、スカイランタンを地域の人も巻き込んで一緒に夜空に放つということです。 東中学校は、「天晴れ！鳳凰ダンスで大館に元気を届けます」ということで、ダンスパフォーマンス用のＴシャツを皆で揃えてそれを東中祭やきりたんぼまつりなどで披露し、東中生のエネルギーで地域を明るくするということです。 ちなみに、ダンスの曲は、ダックスムーンをお願いしているということです。
委員	消火器は、何年くらいで交換するのですか。

生涯学習課長	消火器の種類によって違います。今回の50型は大きい消火器であり、交換時期が10年ということで、今回点検したときに年数が過ぎていたため速やかに交換することにしました。 種類によって年数が違うということです。
委員	種類によって違うということは、メーカーによって違うということですか。それとも消火器の内容によってですか。
生涯学習課長	消火器の形式でも違いますし、メーカーによっても違いますけれども、消火器の型式による年数違いの方が多いと思います。
委員	いろいろなところに消火器があるでしょうから、丁寧にチェックしておかないといけませんね。いざというときに使えないと大変ですからね。
生涯学習課長	何年かごとに予算をあげて交換するようになっており、市ではきちんとシールで管理されています。
教育総務課長	(「来月の開催日程」について)
教育長	委員の皆さまから何かございませんか。 それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。
	会議終了時刻 午後4時45分